

5/27 ミアーズ中学校から生徒が訪問
千歳中学校で剣道体験



姉妹都市アンカレジ市から来たミアーズ中学校の訪問団が、市内中学校への訪問やホームステイを通して交流を深めました。この日は、ミアーズ中学校の生徒7人が千歳中学校を訪問し、剣道を体験。竹刀の持ち方や姿勢、基本の打ち方などを先生から教わったのち、「面・胴・小手」と慣れない掛け声を出しながら練習しました。アダム・イデイスさん（中学3年生相当）は、剣道体験について「スポーツよりもっと楽しい。面白い」と話し、胴の打ち方がお気に入りのジョナサン・ジャンソンさん（中学3年生相当）は、千歳滞在について「ショッピングが楽しみ。特にお菓子を買うのが楽しみ」と話しました。

人々のうごき

《総人口》
97,075人（+1）
男性 49,335人（-19）
女性 47,740人（+20）
《世帯》52,668世帯（+51）
（ ）内は、前月との比較です。

6・1
現在

広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。

広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851

5/22 千歳の空手少年、全国へ
目指すは世界大会！

極真空手の全国大会「2025 春季全日本空手道選手権大会」に、千歳市から2選手が出場しました。ともに極真館北海道中央支部の千歳道場に所属する北村 壮平さん（千歳中2年）と鹿野 瑛仁さん（祝梅小6年）の二人は、同支部の高森支部長の推薦を受け大会に出場。北村さんは下段回し蹴り、鹿野さんは中段蹴りを得意技とし、ともに過酷な練習にも最後まで諦めずに全力で取り組む精神力を最大の武器としています。北村さんと鹿野さんは、高森支部長が「揺るぎない芯の強さがあり、一つ一つの積み重ねで強くなってきた。これから新しい技に挑戦するのが楽しみ」と期待するホープ。大舞台を経験した二人は、「次の全国大会では優勝し、世界大会に出場したい」と今後の意気込みを話していました。



5/8 5/14 幸福の花「すずらん」
皇室に献上、太宰府天満宮へ奉納



市は、昭和36年5月に昭和天皇・香淳皇后両陛下をお迎えし支笏湖で挙行された「植樹祭」を記念して毎年5月に皇室へ「すずらん」を献上しており、今回で65回を迎えました。また、毎年1月に太宰府天満宮から「梅」が届けられ、5月には千歳市から「すずらん」を奉納しており、今回で69回を迎えました。5月8日には皇室行きのすずらんをANA（全日本空輸）に、5月14日には大宰府行きのすずらんをJAL（日本航空）に託すため、それぞれ贈呈式を行いました。

5/17 5/18 花と緑に親しむ活動
花と緑のフェスタ



ちとせ環境と緑の財団が主催する《花と緑のフェスタ》が5月17日から18日までの2日間、グリーンベルトで開催されました。アリス認定こども園による和太鼓演奏で幕を開け、メモリアルツリーの贈呈式（出生・入学・自宅購入・還暦などの慶事を迎えられる方へ）やキッズダンスチームによるチアダンス、千歳JAZZ倶楽部の演奏などを楽しみました。メモリアルツリーが贈られた高橋 百花さんは「良い機会だと思い参加しました。大切に育て、庭づくり頑張ります」と話しました。

5/14 千歳市から「明日のガンバレ」を
包括連携協定締結式



市と株式会社レバンガ北海道は、双方の資源を有効に活用した協働による活動を進め、地域の活性化及び市民サービスの向上を図ることを目的に包括連携協定を締結しました。代表取締役社長折茂 武彦氏は「この包括連携協定締結を契機に、さらに千歳市の皆さまとレバンガ北海道の関わりを深めていきたい。具体的には、千歳市民応援デーとして市民の皆さんをホームゲームへ招待したり、市内小中学校を訪問しスポーツ振興に協力する」など、市とともに「明日のガンバレ」を届けたいと話しました。

手づくりの着陸場から
新千歳空港へ
開港100年の歴史を振り返る

ちとせ空港
Vol.26
民間航空再開へのあゆみ
百年物語

民間航空用として
昭和26年5月10日、航空庁から千歳町あてに、「東京―札幌間航空路の開設について（通知）」と題する一通の書簡が届きました。
「北海道における使用飛行場は、現在の施設の状況からさしあたり千歳飛行場の使用を予定しています」
これにより、民間航空用の飛行場に千歳飛行場が使用されることが確実となりましたが、恒久的な空港としての整備を約束するものではなかった

ため、丘珠との誘致合戦は昭和30年代前半まで続きました。
来なかった「金星」
昭和26年8月に設立された日本航空は、民間航空再開にあたりフィリピン航空から航空機ダグラスDC-3をチャーターし、羽田を拠点に日本各地への試験飛行を開始しました。
チャーター機は「金星」と名付けられ、9月1日には千歳にも試験飛行を行う予定でした。しかし、直前になって「諸般の事情」により試験飛行を延期する旨の電報が日本航



ダグラス DC-3 金星

空から届き、祝賀会の準備をしていた千歳町は肩を落しました。
一旦は白紙となった千歳飛行場への試験飛行。しかし、遠からず再度の試験飛行があると見込んだ千歳町は、次の機会をうかがい続けました。